

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	鈴木 次郎	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
からだの構造と機能の根幹となる教科です。からだがどのような仕組みによって働いているか知る。特に生理学 I では、生理学の基礎と、内臓の機能を概説できる。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験 100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
東洋療法学校協会編:生理学 第3版 プリント						
《授業外における学習方法》						
生理学に関しては、数多くの参考書・問題集が出版されており、授業のなかでも紹介していきます。最初の根幹となる科目となり、わからない箇所は、その日のうちに質問するよう心がけてください。また、その日に習った内容はその日のうちに復習してください。						
《履修に当たっての留意点》						
生理学は深く勉強すれば深く勉強できる教科です。ただし、はり師きゅう師に求められる内容(テキストに記載されている内容)は最低限理解する必要がある。2年次に学習する科目にもつながる科目である						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	ホメオスタシス・細胞の構造と機能を習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書の目次を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 第1章 生理学の基礎(ホメオスタシス・細胞の構造と機能)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	物質代謝・体液・体内での物質の移動を習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p.2～13を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	第1章 生理学の基礎(物質代謝・体液・物質の移動)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	物質代謝・体液・体内での物質の移動を習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p.2～13を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	第1章 生理学の基礎(物質代謝・体液・物質の移動)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	赤血球の構造と働きを習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p.8～p.20を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	第2章 循環(赤血球の構造と働き)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	白血球・血小板の働きを習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p.16～p.21を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	第2章 循環(白血球の働き、血小板の働き、止血作用)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	血漿タンパク・血液型を習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p.16～p.28を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第2章 循環(血小板・血液型)「血液」の復習		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓血管系、心臓の構造を習得する(説明できる)	プリント教科書 心臓模型	教科書p.28～p.32を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第2章 循環(心臓血管系、心臓の構造)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	心機能の調節、心電図、心臓の支配神経を習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p.32～p.36を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第2章 循環(心機能の調節、心電図、心臓の支配神経)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管の構造、脈拍、毛細血管、静脈、血管の支配神経を習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p.37～p.42を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第2章 循環(血管の構造、脈拍、毛細血管、静脈、血管の支配神経)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	血圧のメカニズム・血圧測定メカニズムを習得する(説明できる)	プリント教科書 血圧計	教科書p.42～p.47を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第2章 循環(血圧、循環の調節)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	特殊循環を習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p.47～p.52を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第2章 循環(特殊循環)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器の構造・呼吸運動を習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書の該当範囲を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第3章 呼吸(呼吸器・呼吸運動)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	肺における換気とガス交換・呼吸運動の調節を習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p.54～p.66を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第3章 呼吸(換気とガス交換・呼吸運動とその調節)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	肺における換気とガス交換・呼吸運動の調節を習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p.54～p.66を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第3章 呼吸(換気とガス交換・呼吸運動とその調節)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系の構造と機能、口腔・食道・胃の機械的消化作用を習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p.68～p.71を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第4章 消化と吸収(消化器系の構造と機能、消化管の運動1)		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	鈴木 次郎	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
からだの構造と機能の根幹となる教科です。からだがどのような仕組みによって働いているか知る。特に生理学 I では、生理学の基礎と、内臓の機能を概説できる。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験 100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
東洋療法学校協会編:生理学 第3版 プリント						
《授業外における学習方法》						
生理学に関しては、数多くの参考書・問題集が出版されており、授業のなかでも紹介していきます。最初の根幹となる科目となり、わからない箇所は、その日のうちに質問するよう心がけてください。また、その日に習った内容はその日のうちに復習してください。						
《履修に当たっての留意点》						
生理学は深く勉強すれば深く勉強できる教科です。ただし、はり師きゅう師に求められる内容(テキストに記載されている内容)は最低限理解する必要がある。2年次に学習する科目にもつながる科目である						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	小腸、大腸における機械的消化作用を習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p.71～p.76を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	第4章 消化と吸収(消化管の運動2)			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	唾液・胃液・膵液・胆汁の働きを習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p.76～p.82を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	第4章 消化と吸収(消化液1)			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	腸液の働きを習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p.82～p.84を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	第4章 消化と吸収(消化液2)			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	代謝機能を習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p.92～p.105を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	第5章 代謝			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	体温調節の仕組みを習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p.108～p.115を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	第6章 体温			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎臓の働き、腎循環を概説できる。	プリント教科書	教科書の該当範囲を一読しておく
		各コマにおける授業予定	排泄Ⅰ：腎臓の仕組み		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿細管の再吸収の仕組み・クリアランスを概説できる。	プリント教科書	教科書の該当範囲を一読しておく
		各コマにおける授業予定	排泄Ⅱ：尿細管の再吸収の仕組み		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	浸透圧と圧受容器の仕組みを概説できる。	プリント教科書	教科書の該当範囲を一読しておく
		各コマにおける授業予定	体液の浸透圧調節		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌ホルモンの特徴、視床下部のホルモン、下垂体のホルモンの働きを習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p.130～p.138を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第8章 内分泌(ホルモンの特徴、視床下部のホルモン、下垂体のホルモン)		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	甲状腺のホルモン、副甲状腺のホルモン、膵臓のホルモン、副腎のホルモンの働きを習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p. 130～p.147を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第8章 内分泌(甲状腺のホルモン、副甲状腺のホルモン、膵臓のホルモン、副腎のホルモン)		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	精巣のホルモン、卵巣のホルモン、その他のホルモンの働きを習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p. 147～p.150を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第8章 内分泌(性腺のホルモン、その他のホルモン)		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖器の構造と働きを習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p.152～p.156を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第9章 生殖・成長と老化(生殖)		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	妊娠と出産・成長・老化を習得する(説明できる)	プリント教科書	教科書p.156～p.162を一読しておく
		各コマにおける授業予定	第9章 生殖・成長と老化(妊娠と出産・成長・老化)		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	プリント教科書	
		各コマにおける授業予定	復習		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	基礎、循環器、呼吸器、消化・吸収、代謝・体温、内分泌、生殖の重要項目を説明できる	プリント教科書	資料からまとめておく
		各コマにおける授業予定	まとめ 評価の確認		